

別記様式 4

「第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定（案）」 に関するパブリックコメント手続の結果

意見の募集期間	令和8年2月2日 ～ 令和8年2月27日
意見の提出者数	7 人
意見の件数	27 件
意見の要旨の数	27 件
担当部課	環境部 GX推進課
電話	0270-27-5596（直通）
ファックス	0270-27-5388
電子メール	gxsuishin@city.isesaki.lg.jp

第2次伊勢崎市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）改定（案）に関するパブリックコメント手続を令和8年2月2日から令和8年2月27日まで実施し、7名の方から27件のご意見・ご提案をいただきました。

お寄せいただいたご意見等について、市の考え方を次のとおり公表します。

寄せられたご意見等の要旨とそれに対する市の考え方について次のとおり公表いたします。

1 全体に係る意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	《いせさきGXについて》 「いせさきGX」の見方・考え方は計画全体に及ぶものと考えているが、11ページ・79ページにて取り上げているのみである。	第1章伊勢崎市の動向にて記載します。

2 「第5章 計画目標と基本方針・施策」についての意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	《基本方針3 脱炭素型まちづくりの推進について》 市民の交通機能の整備がされておらず、各家庭が自家用車で送迎せざるを得ない状況であるため、自動車による温室効果ガス排出量削減の仕組みづくりが必要だと思う。また、伊勢崎市にシンボリックな取組として、EVバスを走らせるなど、ニーズに合わせた話題性のある仕組みづくりをしてほしい。	脱炭素化に向けた施策として、コミュニティバス等公共交通の利用促進を掲げました。利用促進に係る施策について関係部局と調整を行うとともに、EVバスの導入について調査研究を行ってまいります。
2	《基本方針5 豊かな自然環境の保全》 再生エネルギーなどの設備投資への助成金はあるが、緑化推進については支援が乏しいため、緑化を推進している家庭への支援制度があると良い。自然環境の保全は継続的な手入れが必要であるが、行政が助成支援することで個人負担を軽減させ、官民一体の自然環境保全やま	令和8年度より着手予定の新たな伊勢崎市みどりの基本計画策定では、グリーンインフラの考え方を導入するとともに、市民や企業の活力によるグリーンインフラの保全、維持管理及び利活用の可能性について検討することを予定しております。その際に緑化推進に関する支援制度導入について調査研究してまいります。

別記様式 4

	ちづくりをPRできる。	
3	<p>《ポイント制度の付与について》</p> <p>伊勢崎市民への啓蒙活動の強化を図り、市民活動の底上げが地道ではあるが、長期的な効果があると思う。その為の施策として、ポイント付与制度はどうか。</p>	<p>市民生活に大きく関係する循環型社会の推進にあたっては、ポイント付与制度の導入が有効であることは認識しております。ポイント付与制度の導入も含めて、本計画の推進に資する制度の導入について調査研究してまいります。</p>
4	<p>《重点施策を絞ることについて》</p> <p>一つか二つの重点策に絞り、人的、予算等の資源を集中させ、伊勢崎市の色を出してもらいたい。</p>	<p>本市の地域特性や再生可能エネルギーの活用及び脱炭素化の状況を踏まえ、2050年度でのカーボンニュートラル達成に向けた施策の検討を行い、脱炭素化に向けて必要な取組として36分野を掲げました。</p>
5	<p>《太陽光発電設備の廃棄・グリーンインフラについて》</p> <p>ポテンシャルとしての太陽光発電は魅力だが、廃棄までの費用対効果も考慮し、未来にこれ以上ツケをまわすことのないよう指針を出して欲しい。その点、グリーンインフラは、将来への投資としても魅力があり、前向きに市民参加を促せられる。緑を未来の市民へと渡せる建設的な対策を望む。</p>	<p>国は太陽光パネルのリサイクル推進に関する新法の制定を進めていることから、国の動向を注視しながら本市独自の太陽光パネル廃棄に関する指針策定の必要性について調査研究してまいります。また、令和8年度より着手予定の新たな伊勢崎すみどりの基本計画策定では、グリーンインフラの考え方を導入するとともに、市民や企業の活力によるグリーンインフラの保全、維持管理及び利活用の可能性について検討することを予定しております。</p>
6	<p>《地球温暖化に対する周知・啓発について》</p> <p>生活をしていて温暖化防止に対する意識があまりないように感じる。市民への周知がもう少し必要なのではないかと思う。また、地球温暖化について楽しく、得して理解することが出来ればうれしい。ゲーム感覚・体験型・映画・木を植えようキャンペーン・テクテクDAYを設ける・ポイントを利用するなど。</p>	<p>地球温暖化対策への市民参画の推進にあたっては、体験型イベントの開催やポイント付与制度の導入が有効であることは認識しております。他自治体における事例を参考にしながら、本計画の推進に資する制度の導入について調査研究してまいります。</p>
7	<p>《ごみの減量などについて》</p> <p>ごみ減量でコンポストやプラごみの分別に雨水タンクの普及も力を入れたい。</p>	<p>ごみ減量等につきましては関連計画である伊勢崎市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画内に掲載されております。雨水タンクの普及につきましては、今後予定している水循環及び雨水利用に関する方針を整理しながら、具体的な施策の導入について調査研究してまいります。</p>
8	<p>《イベント時の乗り合わせについて》</p> <p>各団体に意識していただくために、行事のあるときは相乗りをお願いする。習慣化出来ていければ良い。</p>	<p>脱炭素化に向けた施策として、カーシェア及びライドシェアの普及を掲げました。本計画を広く周知することで市民生活におけるライドシェア等の新たな交通サービスの将来的な導入について調査研究を進めてまいります。</p>
9	<p>《電気自動車普及のための取組について》</p> <p>電気自動車普及率あげるために助成金と公民館などに充電設備を設置する。</p>	<p>脱炭素化に向けた施策として、次世代自動車の普及を掲げたことから、施策の推進に向けた具体的な取組について調査研究してまいります。</p>

別記様式 4

10	<p>《河川敷の整備について》</p> <p>河川敷の整備をし、遊歩道を整備し、トイレも常に清潔に市民が伊勢崎は良いところだと思えるようにしてほしい。</p>	<p>令和8年度より着手予定の新たな伊勢崎市みどりの基本計画策定では、河川敷等を含むグリーンインフラの考え方の導入を予定しております。計画策定にあたり河川敷等の更なる活用方法について調査研究してまいります。</p>
11	<p>《基本方針1 再生可能エネルギーの利用促進について》</p> <p>再生可能エネルギー（＝太陽光）の推進とあるが、耐加重の問題や系統の空き容量の問題、老朽化による廃棄、景観や光など、比較的手ごろに施工できるものの課題は山積していると思う。47ページに示すグラフのように推移できると考えられるのか。</p>	<p>太陽光発電の導入量につきましては、現状の導入率や国が示す導入目標量を踏まえ将来予測を行い、実現性のある数値といたしました。また、国は太陽光パネルのリサイクル推進に関する新法の制定及びペロブスカイト等の新技術の開発促進を進めていることから、国の動向を注視しながら太陽光発電導入推進に関する施策について調査研究してまいります。</p>
12	<p>《市の役割について》</p> <p>82ページの（表5-6）ロードマップに関して、市の役割としてどの部門が推進役として舵取りをされるのか。市の関り方や2050年のカーボンニュートラル化について、推進する（達成する）と言う思いが伝わらない。</p> <p>また、事業者（産業、業務、運輸）、家庭などを明確にされているので、市としても担当部門を明確し部門横断であることを明確してはどうか。</p>	<p>市民及び市民団体、事業者及び市が連携して計画を推進する体制整備を進めてまいります。また、計画の進捗状況はPDCAの観点から、その時点における計画の進捗状況の把握や課題等の抽出等を行うとともに、計画の進捗状況、点検評価結果及び温室効果ガス排出量についてホームページ等にて公表してまいります。</p>
13	<p>《太陽光発電事業についての提案》</p> <p>31ページに示される、再生可能エネルギーポテンシャルの分布に関して、太陽光発電（土地系）ポテンシャルエリアの放棄耕作地、雑種地などにオフサイトコーポレートPPAにて設備を導入し、再エネ証書付き電力として、市内事業者、市民に販売を行ってはどうか。</p>	<p>市では公共施設への太陽光発電設備の導入を計画的に進めるとともに、導入した太陽光発電設備から発電される電力の有効活用を目指しております。本取組の中で、耕作放棄地等の活用についても調査研究してまいります。</p>
14	<p>《PPAモデルの図について》</p> <p>56ページのPPAモデル図については、非常にわかりづらいので、以下の事例を参考に作り直しを希望する。</p>	<p>PPAモデル図については、巻末に掲載予定の用語集に記載し、内容を補足いたします。</p>
15	<p>《グリーン電力証書について》</p> <p>グリーン電力証書について絵があると効果的です。</p>	<p>用語集で内容を補足いたします。</p>
16	<p>《ZEHなどの用語について》</p> <p>61ページ、新築・既存住宅の断熱化・省エネ化については、市内の住宅業者様でも広く使われている用語として、「ZEH」を使用し、補足もしくは巻末に「用語集」をつけてはどうか。</p>	<p>当該箇所にて追記し、用語集にて記載いたします。</p>

別記様式 4

17	<p>《省エネ診断について》</p> <p>63ページの省エネ診断について、群馬県地球温暖化防止活動推進センターや省エネルギーセンターでも同様のものを行っています。</p>	<p>該当ページに追記いたします。</p>
18	<p>《第3章 脱炭素型まちづくりの推進について》</p> <p>スマートムーブの推進を加えてください。また、68ページに GunMaaS を使用した「あおぞら」の運行についても検討が必要かと思う。</p>	<p>スマートムーブにつきましては、基本方針3 脱炭素型まちづくりの推進の施策に対応しておりますので、当該基本方針の概要に追記し、用語集にて記載いたします。</p> <p>GunMaaS を使用した「あおぞら」の運行については、脱炭素化に向けた施策として、コミュニティバス等公共交通の利用促進を掲げたことから、利用促進につながる施策の一つとして関係部局と共有し調査研究を行ってまいります。</p>
19	<p>《ワンマイルモビリティの採用について》</p> <p>ワンマイルモビリティを取り上げること。</p>	<p>脱炭素化に向けた施策として、コミュニティバス等公共交通の利用促進を掲げました。コミュニティバス等公共交通を補完するパーソナルモビリティの導入について、他自治体における先進事例を参考にしながら調査研究を行ってまいります。</p>
20	<p>《基本方針4 循環型社会の推進について》</p> <p>ごみの削減に生ごみを出す前に丁寧に水切りを行う。これにより可燃ごみ量が簡単に削減できます。</p>	<p>ごみ減量等につきましては関連計画である伊勢崎市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画内に掲載されております。</p>
21	<p>《基本方針4 循環型社会の推進について》</p> <p>72ページに「持続可能な地域とカーボンニュートラル・サーキュラエコノミー・ネイチャーポジティブを同時実現する取組の創出」加筆し、さらにエシカル消費を加えていただきたい。</p>	<p>カーボンニュートラル、サーキュラエコノミー及びエシカル消費については、基本方針4 循環型社会の推進、ネイチャーポジティブについては、基本方針5 豊かな自然環境の保全にて、市民に伝わりやすい表現に整理したうえで掲載いたしました。</p> <p>なお、ネイチャーポジティブの実現に向けた取組については、本市環境基本計画に沿って、「30 by 30（サーティ・バイ・サーティ）」の達成のため、自然共生サイトの認定に向けた生物多様性の保全等に関する環境調査の実施を予定しています。</p>
22	<p>《基本方針5 豊かな自然環境の保全について》</p> <p>伊勢崎市は、群馬県内35市町村で最も緑の少ないまちである。市内社寺の森林保全を行うことが市民の緑に関する意識を高め、自らの手でみどりを守り育てているという、主体的な価値観を共有することに繋がる。</p> <p>公園や緑地等の適切な維持管理や更新などの様々な課題やその対応について記載すべき。</p>	<p>令和8年度より着手予定の新たな伊勢崎市みどりの基本計画策定では、グリーンインフラの考え方を導入するとともに、市民や企業の活力によるグリーンインフラの保全、維持管理及び利活用の可能性について検討することを予定しております。</p>

別記様式 4

23	《シンボルツリーのプレゼントについて》 新築住宅には、シンボルツリーを市からのギフトとしてプレゼントするなど意識改革により、みどりを増やせる改革をすべき。	令和8年度より着手予定の新たな伊勢崎市みどりの基本計画策定の中で、民有地を含めた更なる緑化促進について、他自治体における実施事例を参考にしながら、効果的な施策の導入を調査研究してまいります。
----	--	---

3 熱中症についての意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	《熱中症の記載について》 10ページの「基本目標Ⅳ 衛生的な生活環境の推進」の所に「環境汚染の負担」が挙げられているが、温暖化を最も身近に感じられる「熱中症」も盛り込んでどうか。 また、90ページ以降の文章に意味が含まれているように思えますが、もっと強く明確にした方がよい。	計画書中10ページの基本目標につきまして、第3次伊勢崎市環境基本計画にて体系化された5つの基本目標を表記したものです。 熱中症につきましては、本計画における基本方針の一つとして「基本方針7熱中症などの暑さによる健康や生活への対策」として整理し、第6章気候変動の影響への適応において、予想される影響及び主な対策について掲載いたしました。

4 「第7章 実効性のある計画とするために」についての意見等

番号	意見等の要旨	意見等に対する市の考え方
1	《推進体制について》 推進体制に「いせさきGX推進市民協議会」を加えてほしい。	ご意見を踏まえ、第7章に追記いたします。
2	《計画を推進にあたりご意見》 気持ちはあるが、どうしたら良いかわからないという感じを受けました。ぼんやりとしている感じです。市民がはっきりと同じ目的に向かっていく事がこの事業には大きな力を生むこととなります。そのためには積極的にアプローチすることが大切です。人も必要です。 関係する団体を集め、勉強をしつつ啓発や周知、仲間を増やしていきませんか。組織作り・人材育成この事業にはたくさんの課題があります。官民力を合わせないと進みません。	本計画の実現に向けては、本計画を市民及び事業者にも周知していくことが重要であると考えます。各種イベントや出前講座等を通じて一人でも多くの皆様に本計画の内容等について周知を図ってまいります。